

武蔵野市第六期長期計画・調整計画
むさしの未来ワークショップ
報告書

(令和4年7月28日開催)

令和4年10月
武蔵野市

1.はじめに

市では、昭和 46 年に第一期基本構想・長期計画を策定して以来、現在まで、定期的に計画の調整、策定を行い、これらに基づいて計画的な市政運営を推進してきました。

長期計画は、市の目指すべき未来の姿を示し、それを実現するための政策を決める大切な計画です。計画期間は 10 年間ですが、20～30 年先を見通した長期的な視野に立ち、策定しています。

今回、令和 2 年 4 月の第六期長期計画開始以降に生じた様々な社会情勢の変化に対応し、計画の実効性を保つため、令和 4 年度から 2 か年かけて、令和 6 年度～10 年度までの 5 年間の計画期間とする第六期長期計画・調整計画を策定します。

策定にあたっては、第一期基本構想・長期計画策定以来の本市の特徴である、市民参加・議員参加・職員参加を中心とした「武蔵野市方式」を継承するとともに、市民ワークショップや公募市民会議、中高生世代向けワークショップのほか、市民委員による策定委員会を設置し、圏域別意見交換会や関係団体、市議会議員との意見交換、パブリックコメントなど様々な手法を用いて意見聴取を行います。

今回、市の将来を担う中高生世代の意見を積極的に取り入れることを目的として、むさしの未来ワークショップを開催しました。

むさしの未来ワークショップは、特定非営利活動法人地域持続研究所（千葉大学研究グループ OPoSSum）が開発した「未来シミュレータ」を基に、参加者が未来（2050 年）の市長になった設定で、未来の市の状態や課題を把握し、将来世代の立場から現在の市長に提案を行う中高生世代向けのワークショップです。

参加者は市内在住・在学の中高生世代（12～18 歳）の方で、市報や SNS、学校へのチラシ配架等により募集しました。

当日は、18 名の方にご参加いただき、未来市長の立場から松下市長に政策提言を行いました。

なお、ワークショップ全体の進行は、特定非営利活動法人地域持続研究所（千葉大学研究グループ OPoSSum）が行い、各グループでの進行は、千葉大学の学生にご協力いただきました。

この報告書は、第六期長期計画・調整計画策定委員会に送付され、今後の計画策定における参考資料とします。

2.実施概要

(1) 募集方法

市内在住・在学の中高生世代（12～18歳）の方を対象に、6月15日号市報で広く公募するとともに、市内の中学校及び高校への案内チラシの配架や広報掲示板への掲示、SNS投稿、FMむさしのへの出演など、様々な手法を活用し、募集しました。また、中高生世代ワークショップ「Teens ムサカツ」の参加者にも声掛けを行い、募集しました。

(2) 応募者内訳

在籍	学年	性別	人数	割合
市立中学校	1年生	男	2名	10%
	2年生	女	2名	10%
	3年生	男	2名	10%
		女	1名	5%
私立中学校	1年生	男	1名	5%
		女	3名	15%
	3年生	男	2名	10%
		女	1名	5%
高校	1年生	男	1名	5%
		女	3名	15%
	3年生	男	1名	5%
		女	1名	5%
合計			20名	100%

※市内在住 17名、市外在住 3名

(3) 参加者内訳

在籍	学年	性別	人数	割合
市立中学校	1年生	男	2名	11.1%
	2年生	女	2名	11.1%
	3年生	男	2名	11.1%
		女	1名	5.6%
私立中学校	1年生	男	1名	5.6%
		女	3名	16.4%
	3年生	男	1名	5.6%
		女	1名	5.6%
高校	1年生	男	1名	5.6%
		女	2名	11.1%
	3年生	男	1名	5.6%
		女	1名	5.6%
合計			18名	100%

※市内在住 16名、市外在住 2名

(4) 実施結果

日程：令和4年7月28日（木）午前10時から午後4時

場所：武蔵野スイングホールスカイルーム

参加人数：男性8名、女性10名、計18名（4グループ）

千葉大学教授2名

千葉大学学生（グループファシリテータ）4名

支援事業者：特定非営利活動法人地域持続研究所（千葉大学研究グループ OPoSSum）

3.実施結果

(1) オリエンテーション・アイスブレイク

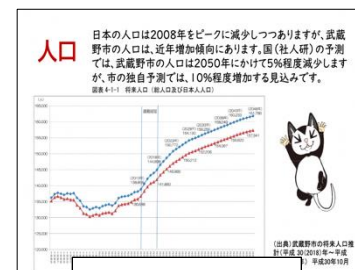
はじめに本日のワークショップの趣旨と進め方について説明したのち、参加者同士が打ち解け合うことを目的としたアイスブレイクを行いました。アイスブレイクでは、参加者があらかじめ自分に関するキーワードを紙に書き出して、他の参加者からの質問に答える「マトリクス自己紹介」を行いました。自己紹介の時間を設けることで、緊張をほぐすことができ、発言しやすい空気をつくることができました。



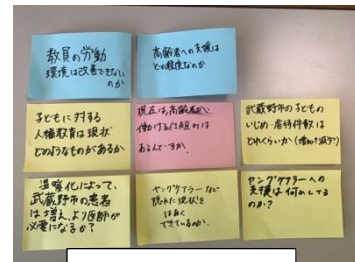
自己紹介の様子

(2) 講義

市職員より「武蔵野市がどのような街なのか」説明をしました。その後、「武蔵野市未来カルテ 2050*」に基づくデータなどから作成した「むさしの未来ワークショップ事前配付資料」に基づき、千葉大学より 2050 年の市の状況や 2050 年までに起こりうるリスク、技術革新などについて説明しました。説明は、人口や産業、保育・教育、医療など細かく分けて行くとともに、グラフや表などを活用し、視覚的にも理解できるよう工夫して行いました。また、参加者には作業帖を配付し、適宜聞いた内容をメモするようアナウンスするとともに、質問の書き出しを行いました。質問では、「市内にある道路のうち、市が管理し、工事などできるのは何割くらいなのか」や「緑を増やすために他の建物などを減らさなければいけないのか」、「ヤングケアラーへの支援は行っているのか」など様々なものが出されました。書き出した質問への回答は、市及び千葉大学より行いました。



説明資料抜粋(人口)



参加者質問付箋紙

(3) 2050年の未来市長が直面する課題の書き出し

2050年の未来市長が直面する課題について付箋紙に書き出す個人ワークを行いました。参加者は、先ほど聞いた2050年の市の状況や2050年までに起こりうるリスク等を基に、将来の課題について考えました。個人ワーク終了後は、各班のファシリテーターが中心となり、書き出した意見を模造紙の左半分に張り出すとともに、似た意見をまとめグルーピングしました。参加者は自分で考えた課題を積極的に班のメンバーに発表しました。その後他の班の書き出した課題を見に行く時間を設け、自分達の班で出ていない課題について確認しました。その際、各班代表者1名が班に残り、他の班の参加者に、「自分達のグループでどのような話し合いがあったか」を説明しました。



グループワークの様子

*武蔵野市未来カルテ 2050

千葉大学大学院社会科学研究院倉阪研究室が作成したカルテ。自治体別に、このままの傾向が2050年まで続いたとしたら、どのような社会になるかグラフ等で示したものを。

(4) 2050年の未来市長からの政策提言の書き出し

模造紙の左半分に整理された「未来市長が直面する課題」を見ながら、それを回避するために今からどのような政策を行えばいいか考えました。個人作業の時間を10分間設け、ひとつのアイデアについて一枚の付箋紙に書き出しました。政策としては、「高齢者による保育所をつくる」や「余った食料をエネルギーにする仕組みを検討する」、「学校での人権・法教育を義務化する」など様々なものが出されました。書き出した意見は、模造紙の右半分に張り出し、似た意見をまとめるなど整理しました。その後、参加者に赤色、傍聴者に青色の「いいねシール」を配付し、「いいねシール」による相互評価を行いました。参加者は各班で出された課題や政策を確認し、「いいね!」と思った政策にシールを貼付しました。「いいねシール」の貼付後、松下乡長への政策提言に向け、発表の準備を行いました。



グループワークの様子



いいねシール貼付の様子

(5) 松下乡長への政策提言の発表

松下乡長への政策提言を、各班5分ずつの時間で行いました。

発表は、「いいねシール」をたくさんもらった提言や班としての「イチオシの提言」を中心に行い、参加者全員が一言ずつ提言を行いました。発表後、松下乡長から、それぞれの提言について、コメントをいただきました。どの班も、2050年の社会をどのように考え、そこにどのような課題があり、そのために今何が必要なのか説明することができました。各班の発表後、全員で記念写真を撮影し、修了証を配付しました。



市長への政策提言の様子



参加者記念撮影

政策提言一覧

子育て

- 子育てに必要な道具(ベビーカー等)を配布する
- 女性が子どもを2-3人産むことを奨励する
- 学校での授業で人権・法教育を義務化する
- 出生や育児によって、仕事で不利になった分の保障を充実させる
- 子ども、保護者の子どもへの社会復帰の支援

人口

- 男性育児休暇の義務化
- 教育がしやすいようになるために仕事場に保育園をつくったりして、仕事も育児も両立できるようにしてあげる!
- 産休・育休を取った人を表彰する
- 出生や育児によって、仕事で不利になった分の保障を充実させる
- 子ども、保護者の子どもへの社会復帰の支援

緑

- ビルの屋上には木を植えこまめなメンテナンスを行う
- 建物の緑化を行うと税金が安くなる補助が出る
- 新しい建物を建てる時に緑化を義務付ける
- 木を植える補助が出る
- 森林の面積の最低ラインを設ける
- 市内の緑の面積を増やす

緑

- 公園や緑地を確保する
- 緑化の補助が出る
- 緑化の義務化
- 緑化の義務化
- 緑化の義務化

雇用

- 外国人労働者の雇用促進
- 外国人労働者の雇用促進
- 外国人労働者の雇用促進
- 外国人労働者の雇用促進

外国人労働者

- 外国人労働者の雇用促進
- 外国人労働者の雇用促進
- 外国人労働者の雇用促進
- 外国人労働者の雇用促進

空の家

- 空家の活用
- 空家の活用
- 空家の活用
- 空家の活用

食

- 食料の確保
- 食料の確保
- 食料の確保
- 食料の確保

車

- 車の確保
- 車の確保
- 車の確保
- 車の確保

防災

- 防災対策
- 防災対策
- 防災対策
- 防災対策

高年齢化

- 高齢者の雇用
- 高齢者の雇用
- 高齢者の雇用
- 高齢者の雇用

技術

- 技術者の確保
- 技術者の確保
- 技術者の確保
- 技術者の確保

むさしの未来ワークショップ提言一覧

2022.7.28

1班 3班 4班

2班

「いいねシール」

- 参加者
- 傍聴者

各グループの意見結果

Aグループ チーム名：黒胡椒ポップコーン

【環境】

環境に関する課題では、主に地球温暖化の進行やヒートアイランド現象の発生などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・市民と協議し、ゴミ袋の値上げやプラスチック製品を有料化する。
- ・子ども向けのごみ分別イベントを開催する。
- ・ソーラーパネル設置に関する補助金を創設する。
- ・市の建物にソーラーパネルを設置する。
- ・電気・水素自動車に買い替えたら補助金を出す。
- ・水素自動車に関する講習会を開催する。

【福祉】

福祉に関する課題では、主に少子高齢化の進行や介護士の担い手不足、ヤングケアラーへの支援不足などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・高齢者支援について計画できる人材を育成する。
- ・医療介護等の単純作業にロボットを導入する。
- ・在宅医療介護スタッフに定年後の人を任用する。
- ・テンミリオンハウスについて周知する。
- ・AIを発展させて空いている人を増やす。その方に介護士などの仕事に就いてもらう。
- ・介護士の時給を上げる。
- ・人手不足の市内職場を周知し、希望者が気軽に働ける環境を整える。
- ・市主導で介護士の仕事を斡旋する。
- ・市内をいくつかのグループ分け、そのグループ内で助け合う仕組みを構築する。

【教育】

教育に関する課題では、主に教員の負担増や人権、法教育、SDGsに関する教育の不足、子どものディベート力の低下などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・テストでSDGsに関する問題を採用する。
- ・通知表にプレゼンテーションやディベート、自分の意見を持っているか等の項目を追加する。
- ・生徒から先生に通知表を渡し、SDGsやプレゼンテーション、ディベートに関する授業が行われているか評価する。

【農業】

農業に関する課題では、主に従事者不足や食料・エネルギー自給率の低下、リデュース・リサイクル率が低いことなどが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・水耕栽培や新技術の農業を推進する
- ・お店や調理場で地元産の食料を多く使用する。
- ・家庭菜園を推奨し、各家庭でとれた野菜を販売する体制を構築する。
- ・農業従事者として外国人を雇う。
- ・介護士の時給を上げる。

- ・人手不足の市内職場を周知し、希望者が気軽に働ける環境を整える。
- ・市主導で介護士の仕事を斡旋する。
- ・市内をいくつかのグループ分け、そのグループ内で助け合う仕組みを構築する。

【子ども】

子どもに関する課題では、主に子育て家庭への支援不足や保育所不足などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・子どもを3人以上産んだ家庭への補助金を創設する。
- ・産休や育休を取得した方を表彰する。
- ・仕事場の中に保育所を設置し、子どもを預けられる環境を整える。

【建物】

建物に関する課題では、主に空き家の増加などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・空き家をリフォームし、住んだ人に対しての補助金を創設する。
- ・空き家は6年間放置したら壊して土地として売る。
- ・空き家を無償で介護施設にし、外国人を雇用する。
- ・屋根や自宅の庭に一定面積以上の緑を植えた方に対する補助金を創設する。
- ・新しい建物を作るときに緑の確保を義務付ける。

【外国人】

外国人に関する課題では、主に投票権の問題や外国人増加によるトラブルの発生などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・入国する際に日本の学識やマナーに関する授業の機会を設ける。
- ・企業に対して一定割合の外国人の雇用を義務化する。
- ・子ども向けの農業体験イベント、環境イベントを開催する。

政策提言

- ・少子高齢化社会への対応として、テンミリオンハウスを周知するとともに、外国人が介護職等で働くことができるよう就職の支援を行う。
- ・農業については、食料自給率の低さが課題であるため、外国人の労働力やICT機器を活用する。
- ・古い建物は倒壊の危険があるため、建替えを進める目的で、新しい家を建てる際に補助金を出すことや、環境問題への対応も兼ねて、ソーラーパネルの設置や緑化を行う際の補助制度をつくる。
- ・環境問題への対応として、ごみ袋削減のため、ごみ袋を購入する際の料金を適切な料金で負担する仕組みをつくる。また、電気・水素自動車の普及のための補助金制度や、環境負荷を低減できる自動車があることを知ってもらうための講習会を開催する。
- ・教育の面では、生徒が先生を評価する通知表があると良い。

市長コメント

- ・少子高齢化社会への対応として、安心して子どもを産み育てられるまちをつくっていくという視点が大切だと考えており、これまで待機児童ゼロや18歳までの医療費無償化に取り組んできたことも見つけてもらうと良い。

- ・農業については、現在試行事業として「CO+LAB MUSASHINO」という連携事業を行っている。市内農業者と飲食店の連携により、市内農産物をつかった地産地消の取組みを進めていこうとしているので、注目してほしい。
- ・古い建物の倒壊への対応は重要。特に災害に関しては、武蔵野市は崩れる崖や水害はないため、耐震補強をしっかりと、地震による建物の倒壊への対策が大事である。
- ・ごみ袋の適正負担について、値段を上げるのはなかなか大変である。23区はごみ袋無料なので、そのようなバランスも含めて検討できればと思う。
- ・先生への通信簿は面白い発想だと思った。目安箱のようなものがあったら良いのかもしれない。

【当日の様子】



Bグループ チーム名：色いろチーム

【人口】

人口に関する課題では、主に生産年齢人口の減少や出生率の低下などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・生産年齢人口（15歳～69歳までなど）を増やす取組みを実施する。
- ・女性は子どもを2～3人産むことを義務化する。

【教育】

教育に関する課題では、主に教員の担い手不足や労働環境の整備、学校の建て替えなどが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・労働環境を改善し、教員の数を増やす。
- ・公務員の給料を増やす
- ・公共施設の再利用

【仕事・財政】

仕事・財政に関する課題では、主にAIの発達による雇用の減少や財源不足などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・第1・2次産業の従事者が教育や介護の場で働ける体制を整える。
- ・増税する。

【介護】

介護に関する課題では、主に担い手不足が挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・労働環境を改善し、介護士を増やす。
- ・介護士の給料を上げる
- ・増税した資金で、介護施設や老人ホームを建てる。

【政治】

政治に関する課題では、主に外国人投票権の問題や外国人増加に伴うトラブルなどが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・政治に関する教育を早期に実施する。
- ・外国人に選挙権を与える。
- ・ボランティア活動を行うとご褒美を与える。

【環境・エネルギー】

環境・エネルギーに関する課題では、主に自然災害への対策不足や地球温暖化の進行、食料・エネルギー自給率の低下などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・ビルの屋上には木を植えることを義務化する。
- ・建物の緑化を義務付けるとともに減税する仕組みを構築する。
- ・緑化、耐震、太陽光発電、介護の要素を兼ね備えた新しい施設を建設する。
- ・自然災害への対策を考える。また、災害時に使用する場所（公園など）を建設する。
- ・雨への対策として、道路をコンクリートから人工芝など他の素材に変える。そうすることで、熱がこもらない街を作る。
- ・市が管理している道をコンクリートから土に変える。

- ・建物の耐震水準を上げる。
- ・太陽光パネルなどの設置を義務化する。
- ・発電できる場所を増やすため、高層ビルを多く建設する。
- ・余った食料を肥料、エネルギーにする仕組みを開発する。
- ・機械が野菜を作れるような技術を開発する。

政策提言

- ・余った食料や給食のごみをエネルギーにする仕組みがあると良い。
- ・政治について分からないので、小学校など早い段階で選挙教育を行い、大人一人ひとりの考え方を子どもが聞く機会を設けると良い。
- ・地球温暖化については、道路をコンクリートではなく芝生にすると良い。土にしてしまうと雨のときにドロドロになるため、歩道だけでも人工芝を敷くなどして、温暖化への対応ができないか。お金はかかると思うが、世界を守るためにはお金が必要だと思った。

市長コメント

- ・ごみをエネルギーに変える仕組みとして、ごみを燃やす熱を電力に変える地産地消をクリーンセンターで行っているのだから、注目してほしい。生ごみのたい肥化など、民間企業でも様々な実験を行っているのだから、そういった取組みも注視していきたい。
- ・選挙に関する教育は大事だと思っている。自分の意見と違っていても反対の立場として議論するディベート力をつけることも必要だと思う。
- ・地球温暖化対策のために緑を増やすという取組みは、とても大変でお金がかかる。現在も頑張っているが、民有地の面積の方が市の中では広いので、民有地の緑化をどうしていくか考えているところである。
- ・道路を人工芝にするというアイデアは良いが、人工芝はプラごみになるため賛否は分かれるかもしれない。

【当日の様子】





Cグループ チーム名：ベン図同好会

【子ども】

子どもに関する課題では、主に虐待や貧困、いじめの増加や災害への危機意識の低下などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・子どものいじめと虐待を早期に発見する法制度をつくる。
- ・学校の授業で人権や法教育を義務化する。
- ・災害時の被害想定などを予測 CG を活用したビデオで見せる。
- ・加害者や被害者となった子どもへの社会復帰の支援

【市政】

市政に関する課題では、主に周知不足や財源不足、協力都市の拡大などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・学校で有識者の人を呼んでワークショップをする
- ・バス内での放送を活用し、市政を周知する。
- ・子どもの権利をスローガンにせず、市政に反映する。
- ・チラシやネットを活用し、市の取組みを各世帯に伝える。

【仕事】

仕事に関する課題では、主に生産年齢人口の労働環境の改善や第1・2次産業の従事者の減少、雇用の減少などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・IOT の商品を購入する人に対して助成金を支給する。
- ・AI やロボットができる仕事（組み立てなど単純作業）は任せ、できない仕事（人に携わる仕事）を人間が行う。
- ・男性育児休暇を義務化する。

【介護】

介護に関する課題では、主に施設のひっ迫や担い手不足、介護士への心のケアが少ないなどが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・介護士試験の機会を増やす。
- ・介護士になりたい人が増えるような優遇措置を行う。
- ・介護関係者の給料を上げる。
- ・労働環境を改善し、休みを必ず取れるようにする。
- ・介護士の仕事をより理解してもらうような取組みを行う。

【外国人】

外国人に関する課題では、主に増加に伴うトラブルの発生や投票権の問題などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・外国人を差別や人権侵害から守る政策、教育を行う。
- ・仕事につけるような支援を行う。
- ・外国人労働者を誘致するために日本語学校や寮の待遇を整備する。
- ・外国人を保護する条例をつくる。
- ・外国人に日本でのルール、支援を伝える取組みを行う。

【環境・エネルギー】

環境・エネルギーに関する課題では、主になど温暖化の進行による農作物の収穫量の低下やエネルギー自給率が低いことなどが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・太陽光発電や節電推進に対する補助金を創設する。
- ・大きい建物には、緑のカーテンやソーラーパネルの設置などを義務化する。
- ・すべての公共施設の壁や屋上を緑化または太陽光パネルを設置する。
- ・森林面積の最低ラインを設け、その水準は下回らないよう義務付ける。
- ・市として市内の畑の最低保有面積（〇〇㎓以上）を決め、その水準を下回らないようにする。
- ・月に1回給食で地元の特産品を説明付きで出す。
- ・水素や電気自動車を買う人に対する補助金を創設する。
- ・高級なEVやPHEVの購入を希望する世帯へ助成金を支給する。
- ・ガソリン車やガソリンに対して市独自の税金を設ける。
- ・すべての市道を太陽光が反射する素材でコーティングする。

政策提言

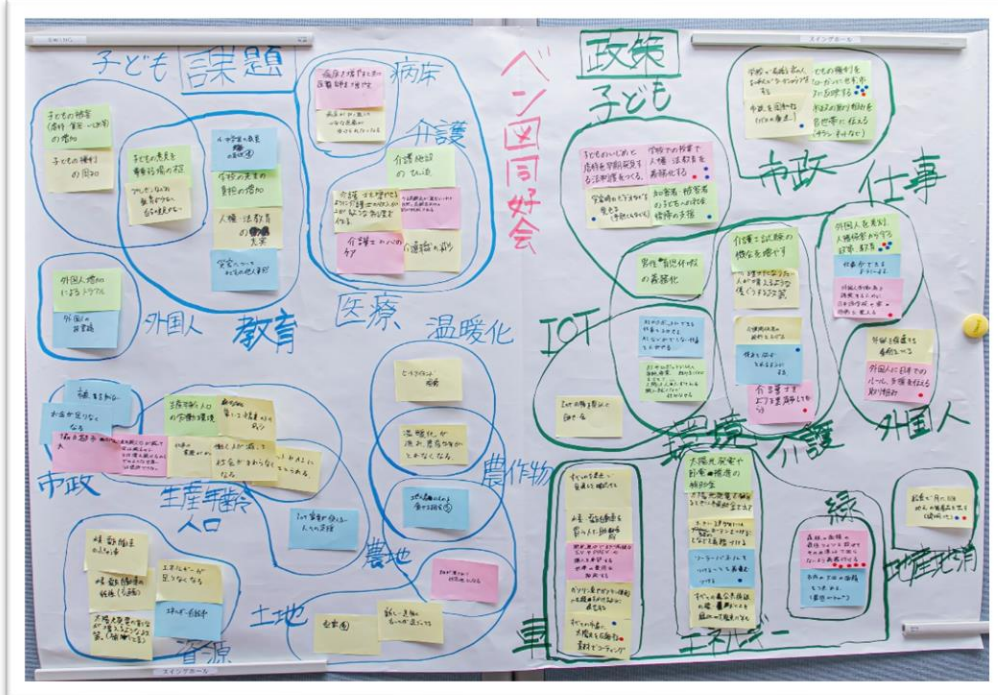
- ・子どもの権利について、人権教育を義務化してはどうか。また、子どもの権利をスローガンとせず、市政に反映させるようにすべき。
- ・外国人については、日本でのルールをしっかりと教えて、外国人を保護する条例をつくってはどうか。差別せず、同じ教育を行うべきと考える。
- ・介護職の不足については、介護職に魅力を感じる人が少ないため、報酬アップなど待遇改善を行うべき。
- ・環境について、住宅増により畑がなくなり、暮らしの中で周りの自然が減っていると感じているため、宅地面積が決められているように、住宅を建てる際の緑の面積を義務付けしてはどうか。
- ・水素自動車等の普及率が低いため、購入者への支援やガソリン車等への市独自の税金を課すなどして、普及率を上げてはどうか。
- ・地産地消、地元の農産物等を食べる機会が少なくなっているため、学校給食で出したり、地元野菜を使っているなどの説明をしてはどうか。

市長コメント

- ・子どもの権利について、スローガンにせず市政に生かすということは、すごく響いた。子どもの権利を理念にしないという考えでいつも取り組んでいる。
- ・外国人を差別しないということは大切なこと。同じ住民であり、同じ一員であるという意識が大切である。
- ・介護人材の不足について、国の政策としてEPA（経済連携協定）というものがあり、インドネシア等の国から、日本の介護施設で働いたり研修しながら、介護福祉士の資格取得を目指す取り組みを行っている。
- ・畑が住宅に変わっているのは、農業を引き継ぐ人がいないなど、いろんな理由があるので、その課題についても検討が必要と考える。
- ・学校給食の3割は市内農産物を利用しているので、学校の放送委員にぜひ紹介していただきたい。

- ・水素自動車等については、国が政策で税金の優遇を行っているため、市独自でどこまで行うかは考える必要がある。また、水素ステーションをつくる必要があることも頭に入れなくてはならない。

【当日の様子】



Dグループ チーム名：究極の梅ぼし

【高齢者】

高齢者に関する課題では、主に少子高齢化や労働人口の減少、支援の不足などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・高齢者の雇用を確保し、年金や医療費の補助に所得制限をかける。
- ・老人ホーム等の高齢者の使用する施設を増やす。
- ・校外学習などで介護士について知る機会を設ける。
- ・高齢者が新しく仕事を始めるときの、就労支援を行う制度をつくる。

【環境・自給率・食品】

環境・自給率・食品に関する課題では、主に地球温暖化の進行による農作物の収穫量の減少や食料・エネルギー自給率の低下などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・エコな建物を建てたり買ったりしやすくするために、少し安く買えるようにする。
- ・車を持つためにかかる税金をガソリン車だと高くし、エコな自動車だと安くする。
- ・各家庭でCO₂の排出削減に協力するほどお店などで使えるポイントを貯められるようにする。
- ・エネルギー自給率が高い家をつくる。また、太陽光パネル等を安く設置できるような政策をとる。
- ・ごみ袋の値段を上げることで分別を促す。
- ・食品ロスを減らすことで、食糧の消費量を減らし、自給率を上げる。
- ・地産地消への関心を増やすため、地域の農家さんとの交流の場を設ける。

【介護・医療】

介護・医療に関する課題では、主に介護職の担い手不足や新型コロナウイルス感染症拡大による医師や看護師の充実などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・介護士の賃金を上げる。
- ・医師や介護士の労働環境を改善する。
- ・介護をする人に対して支援金を支給する。
- ・介護の現場に積極的にAIを導入する。
- ・アプリなどを活用し、介護施設や保育施設の状況をオープンにすることで、介護士や保育士でない人でも手伝える環境を整える。

【外国人】

外国人に関する課題では、主に外国人の増加によるトラブルの発生などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・外国人が定住し、様々な仕事につける制度をつくる。
- ・外国語表記のパンフレットなどを増やす。

【住民・子ども・教育】

住民・子ども・教育に関する課題では、主に出生率の低下や人口減少による将来世代の負担増、教員の負担軽減などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・公園を増やし、町のボランティアなどと共に遊べる建物をつくる。
- ・子育てに必要な道具（ベビーカー等）を配付する。
- ・出産や育児によって、仕事で不利になった分の保障を拡充する。

- ・高齢者による保育所を開設する。
- ・子どもの人数に応じて給付金を支給する。
- ・仕事場に保育園を作ることで、仕事も保育も両立できる環境を整備する。
- ・教員の給料を増やす。
- ・学校の教室を市民向けに貸し出す。
- ・教員の負担減として、はんこなどをやめて PC を活用したプリント制作を行いやすくする。

【AI 導入】

AI 導入に関する課題では、主に雇用の減少や偏りなどが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・AI の導入により仕事を失った人に対して、新しい職業につくまでのサポートを行う。

【自然環境】

自然環境に関する課題では、主に災害時の対策不足や人口増加に伴う避難所のひっ迫などが挙げられ、以下のような政策が示されました。

- ・家具ストッパーなどの耐震商品を配付する。
- ・防災時に拠点となる施設を増やす。
- ・防災用品などが、身近なコンビニなどで安く買えるようにする。
- ・起業したばかりの会社を支援することで、新しい仕事や分野を作る

政策提言

- ・地球温暖化の対応については、各家庭で CO₂ の削減に協力するほどお店のポイントに還元される仕組みがあると良い。経済の発展にもつながると考える。
- ・少子高齢社会への対応として、高齢者による保育所があると良い。子育て経験のある高齢者を活用するというねらいや、子どもたちが将来介護に興味を持ち、恩返しとして高齢者を介護するという効果も期待できるのではないか。
- ・ガソリン車を減らし、エコカーに変えていくために、エコカーにかかる税金を安くしてはどうか。
- ・災害への備えとして、防災時に拠点となる防災トイレや飲料水排水所などの施設を増やしてはどうか。

市長コメント

- ・CO₂ の削減とポイント還元という視点は良い。さらに、CO₂ 削減の手法として、クーラーをやめてうちわにするなど、具体的な提案があるとより良いと考える。
- ・高齢者による保育所という提案は面白いが、現在では保育士の資格が必要である。保育の質が高いところを保護者は求めるため、高齢者による保育所が選ばれるかどうかという観点からも課題はあるのではないか。一方で、子どもたちが介護に興味を持つことは大事だと思う。
- ・市で税率を変更するのは難しい。エコカーについて、いまは電気自動車のほかにも水素自動車などが出てきているので、いろんなエコカーがあることをぜひ調べてほしい。
- ・災害への備えは重要である。防災時の拠点として、どのような場所に、どのような施設が必要か、より具体的な提案があるとよいと感じた。

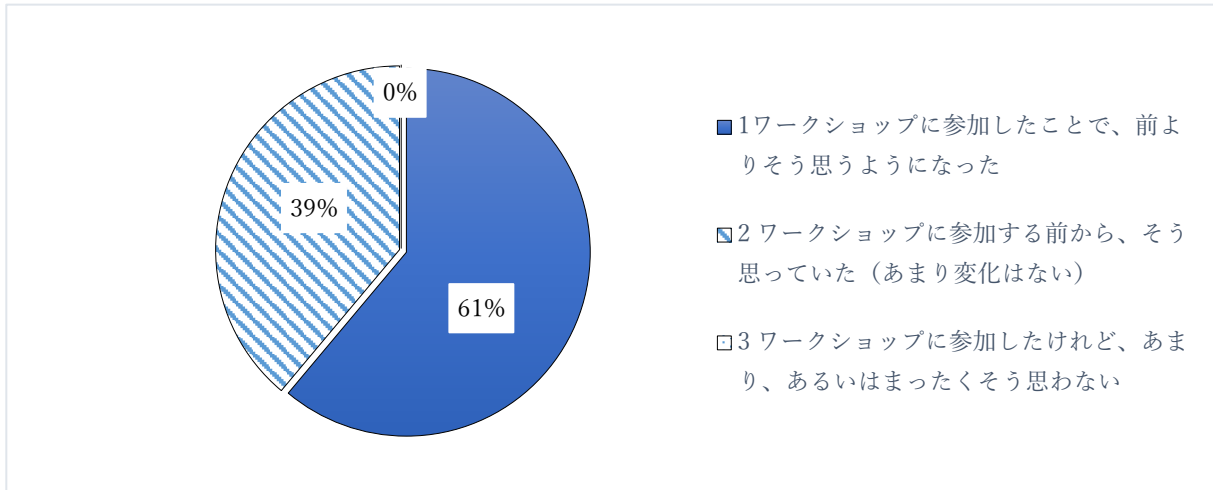
【当日の様子】



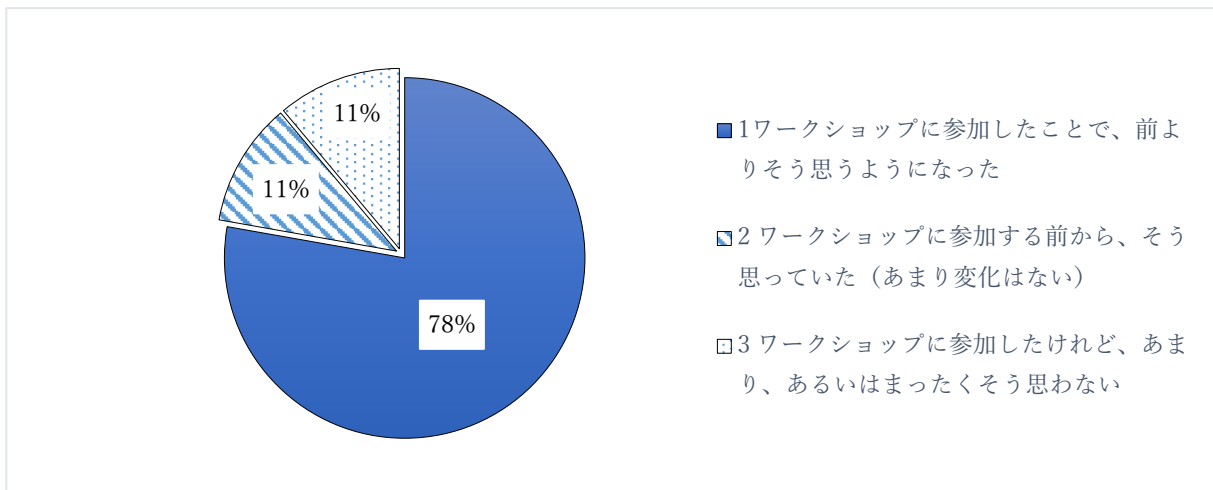
4.参加者アンケート

(1) ワークショップに参加してどのように感じましたか

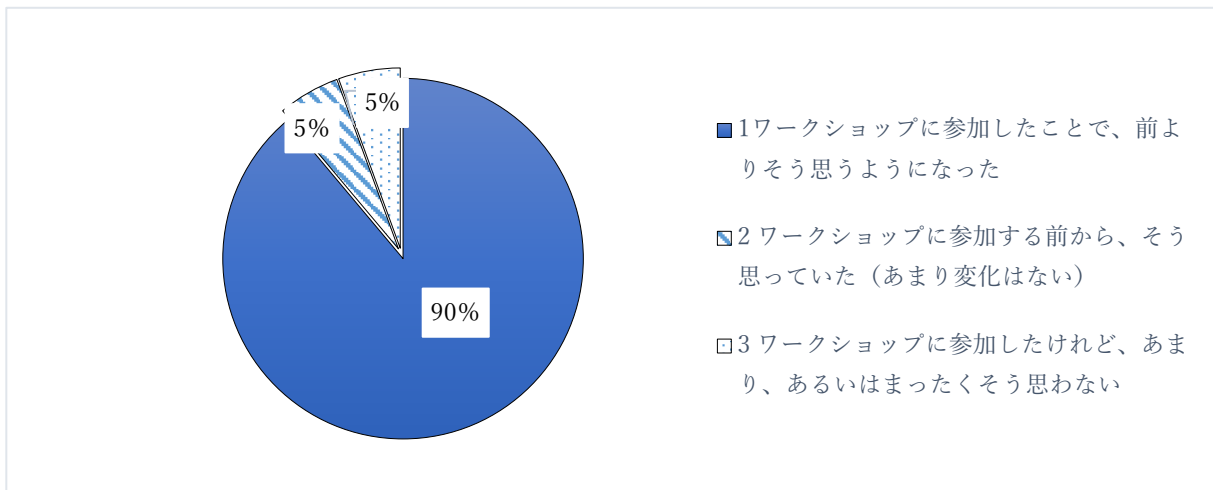
1. 武蔵野市が好きだ。



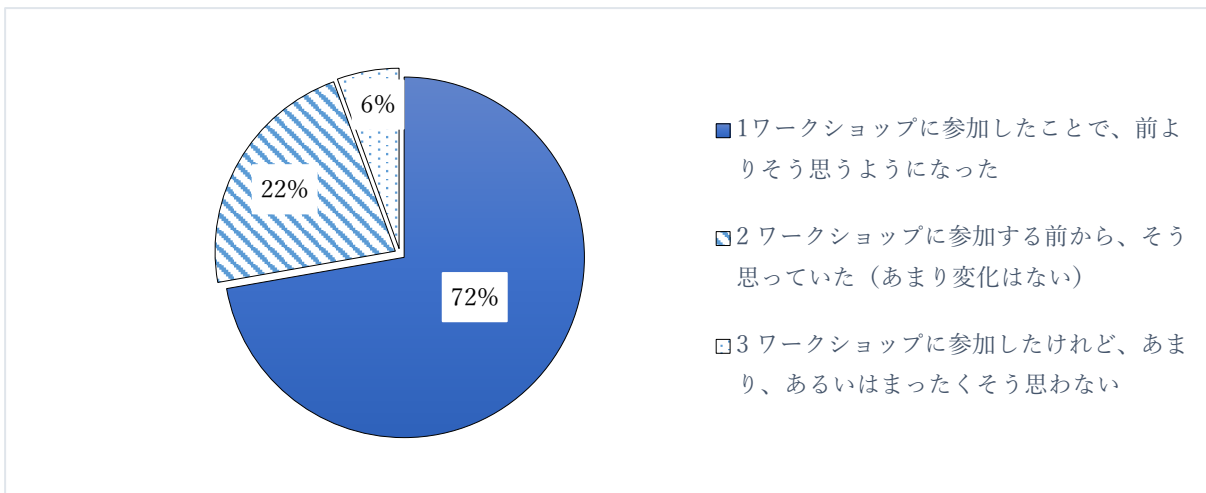
2. 武蔵野市がくらしやすい場所になるよう、自分にできることで貢献したい。



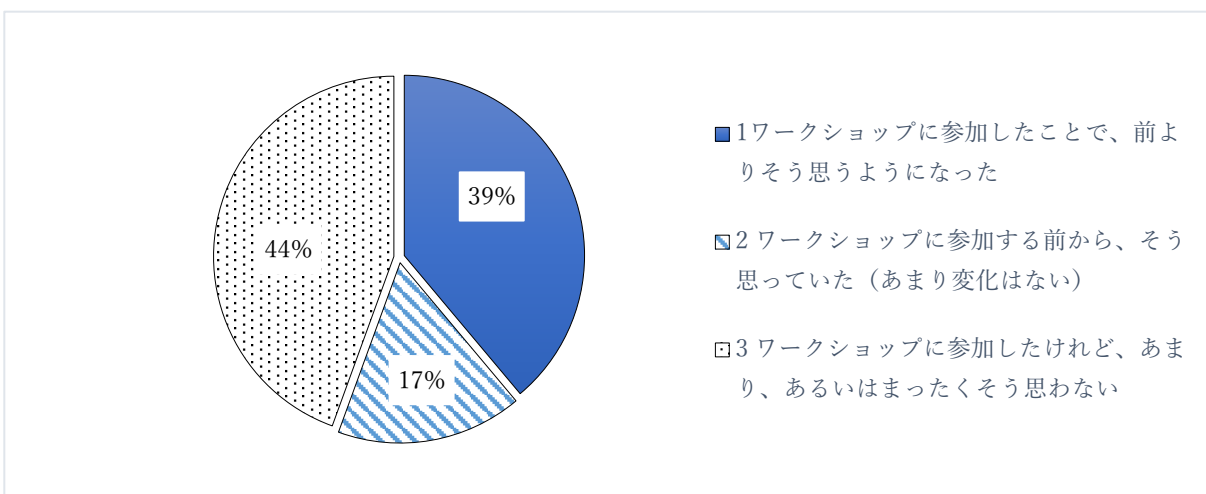
3. 武蔵野市で起きている問題について、もっと知りたい。



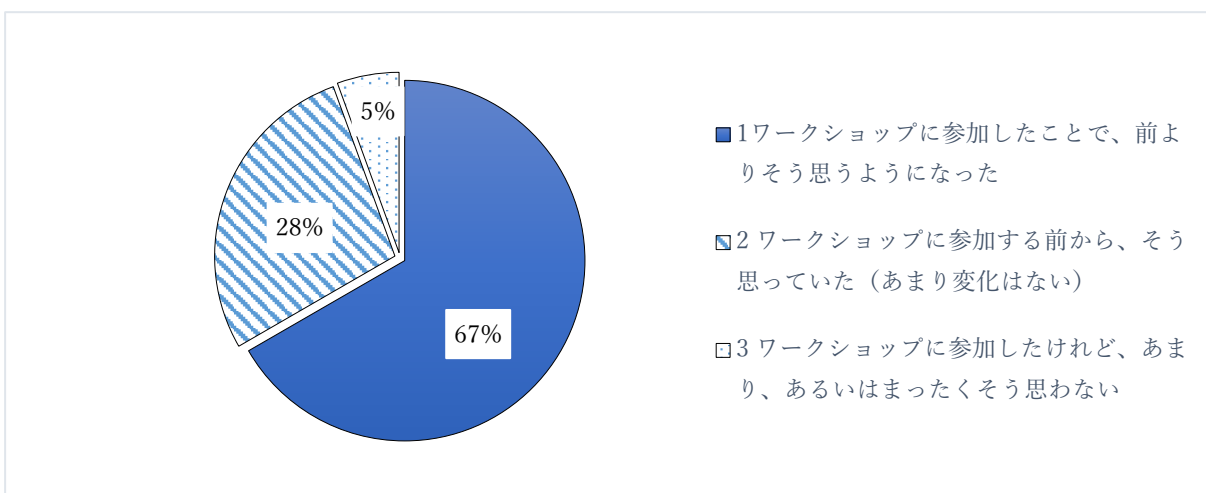
4. 社会や地域で起きている問題について、家族や友人ともっと話し合ってみたい。



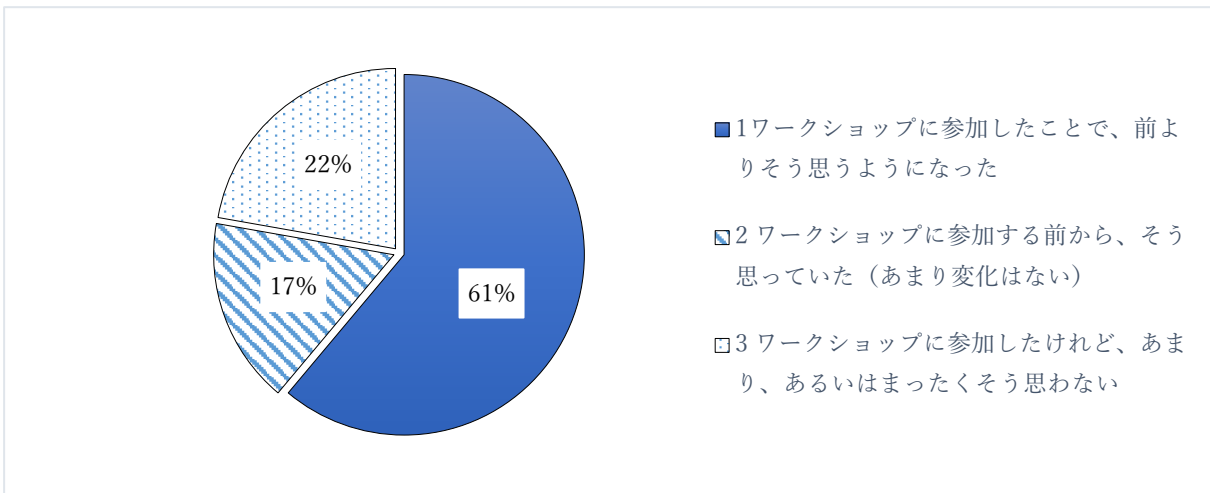
5. 私は、自分と同じくらいの年齢の人と比べて、武蔵野市の現在や将来に関する問題について、知識があるほうだ。



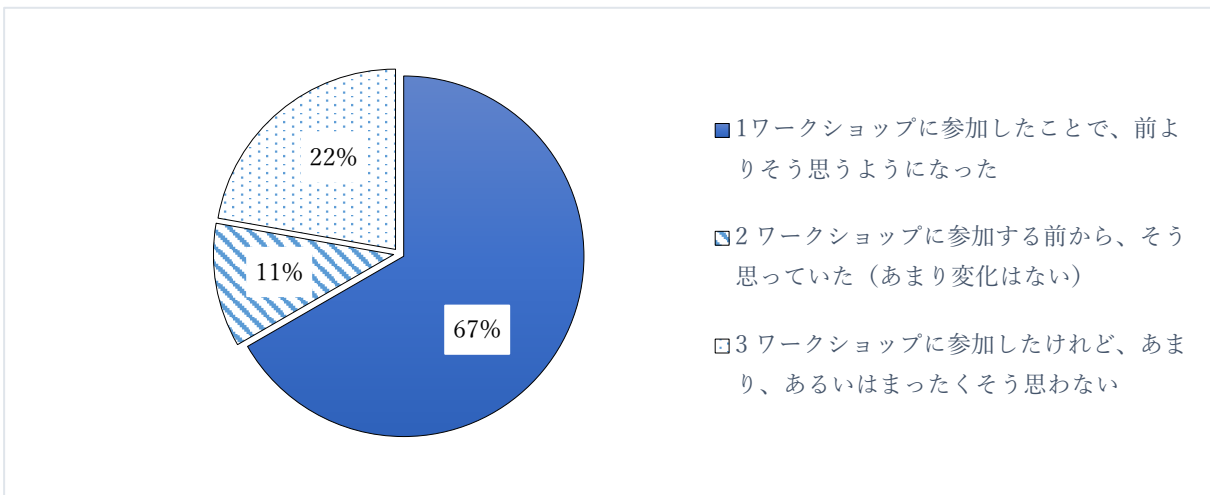
6. 武蔵野市で起きる問題に私に関わることで、少しでも望ましい方向に現状を変えられるかもしれない。



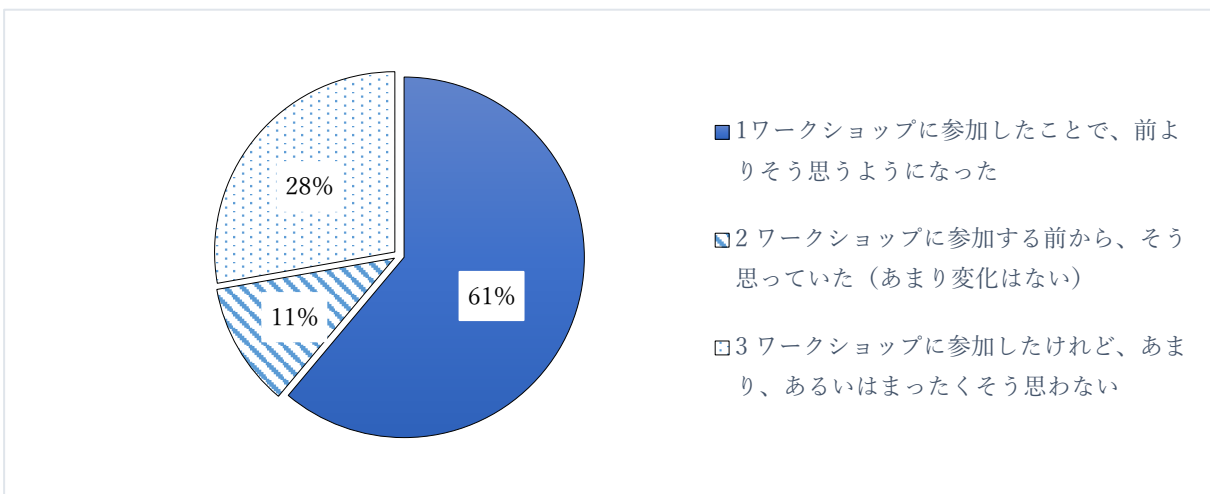
7. 武蔵野市で起きる問題に私が積極的に関われば、市の決定にも影響を及ぼすことができる。



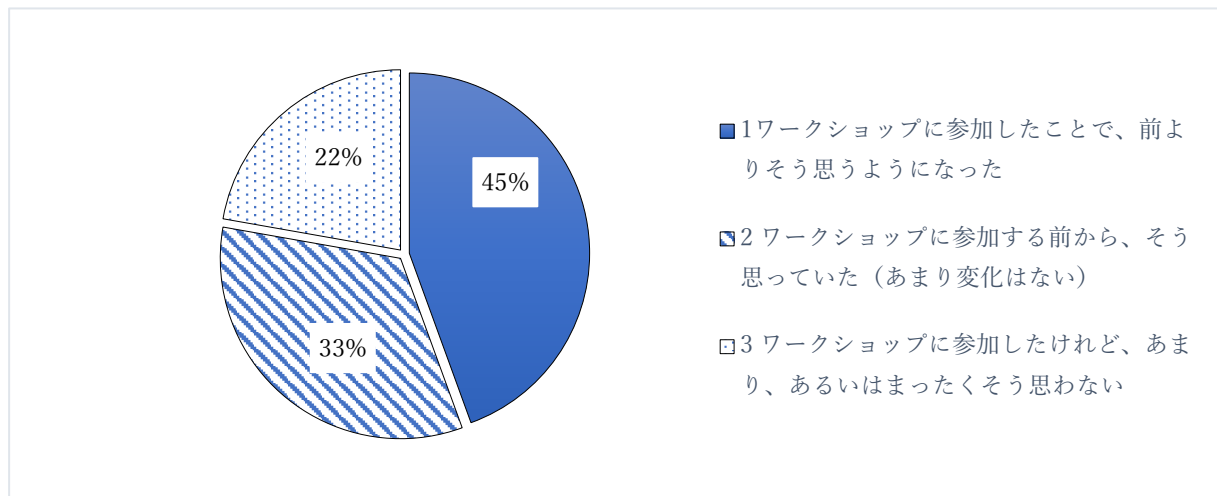
8. 今、もしくは大人になったら、武蔵野市で起きる問題を解決するために、関係者と一緒に話し合う場に参加したい。



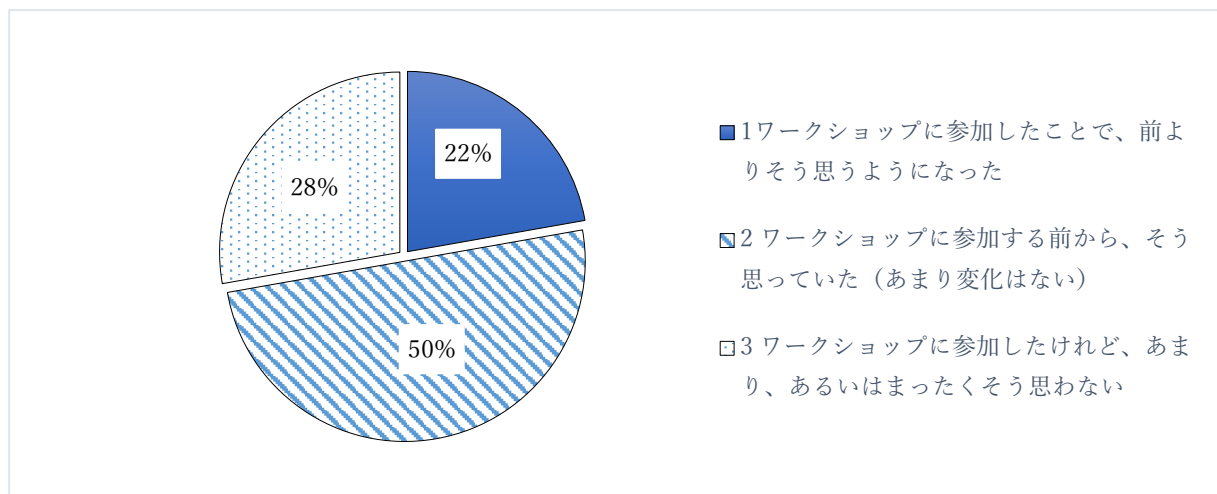
9. 今、もしくは大人になったら、武蔵野市で起きる問題を解決するために、関係者が話し合ったり、協力したりする場を作り、みんなに参加を呼びかけたい。



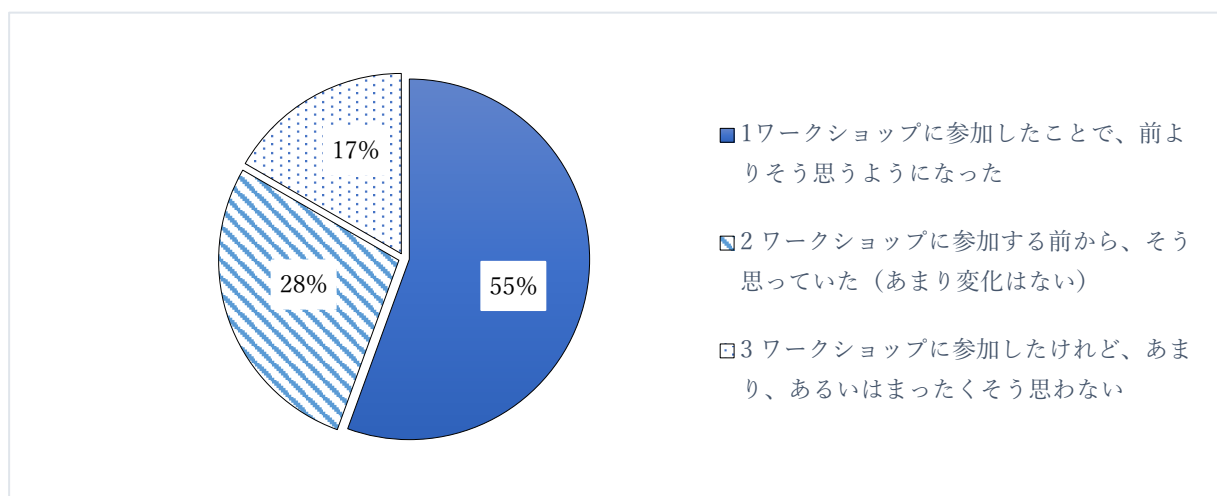
10. 今、もしくは大人になったら、武蔵野市で起きる問題を解決するために、関係者に自分たちの意見を届ける活動に参加したい（例：意見書・署名の提出、SNS を通じた意見発信など）。



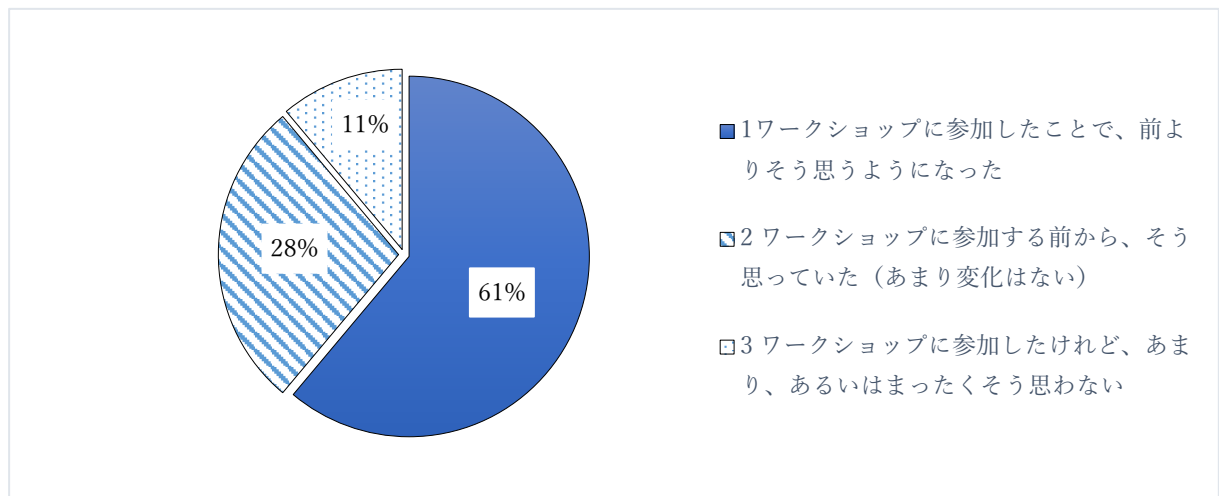
11. 今、もしくは大人になったら、武蔵野市を良くする活動のリーダーになりたい。



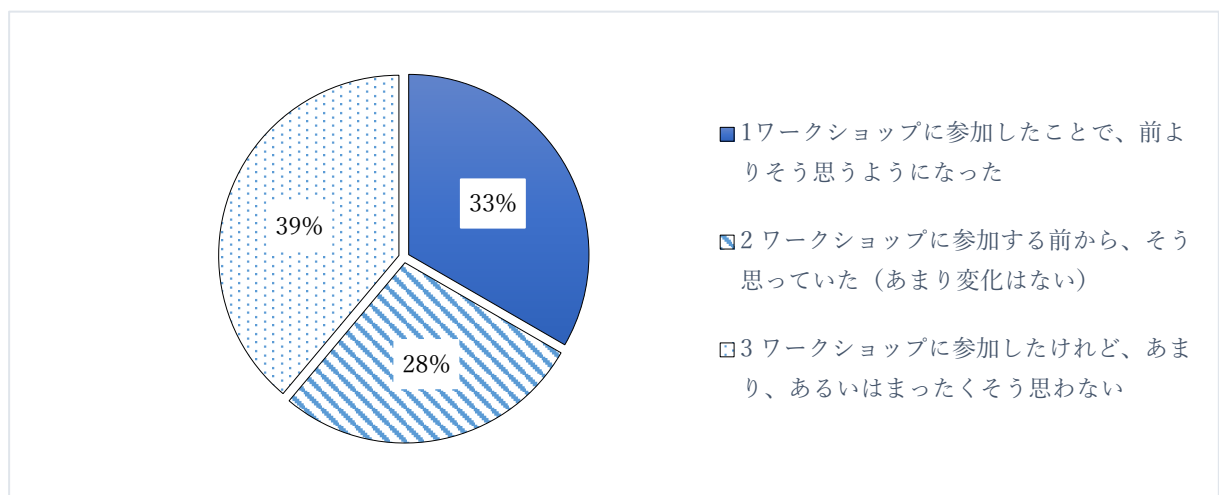
12. 私は、今武蔵野市で起きている問題が将来どうなるかや、対策を講じることでどんな影響がありそうかなど、長期的な視点で考えることができる。



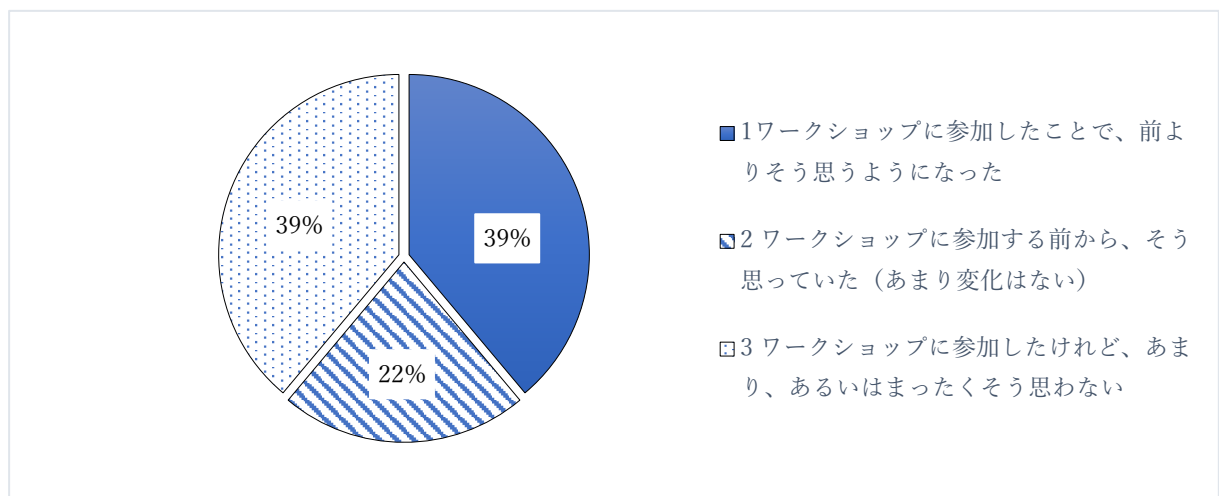
13. 私は、未来で起きそうな問題に対して、問題が起きてから解決方法を考えるのではなく、その問題が起こらないようにする方法を考えることができる。



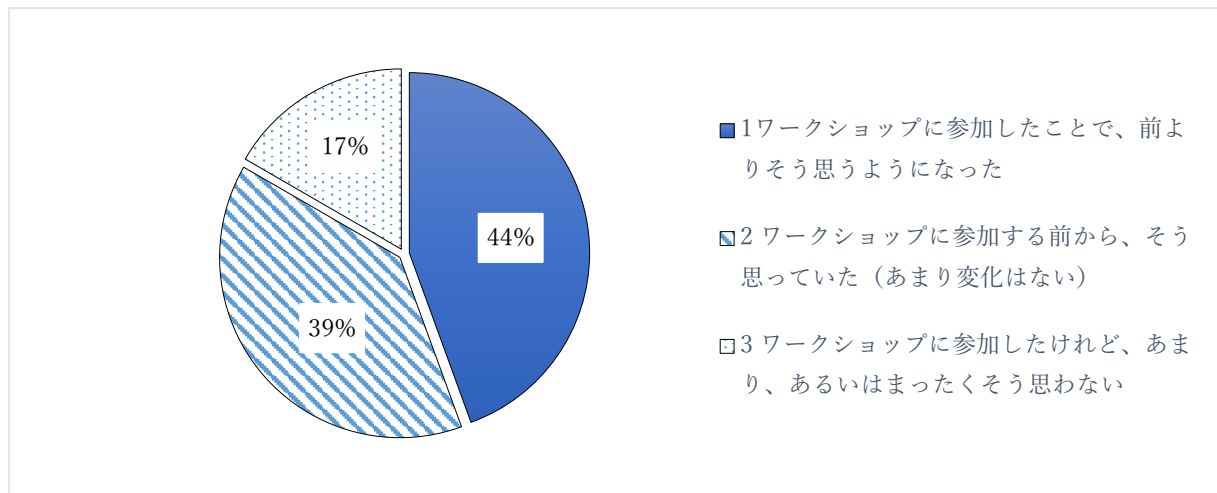
14. 私は、武蔵野市の望ましい将来を実現するために、実行可能性の高い効果的な戦略を考えつことができる。



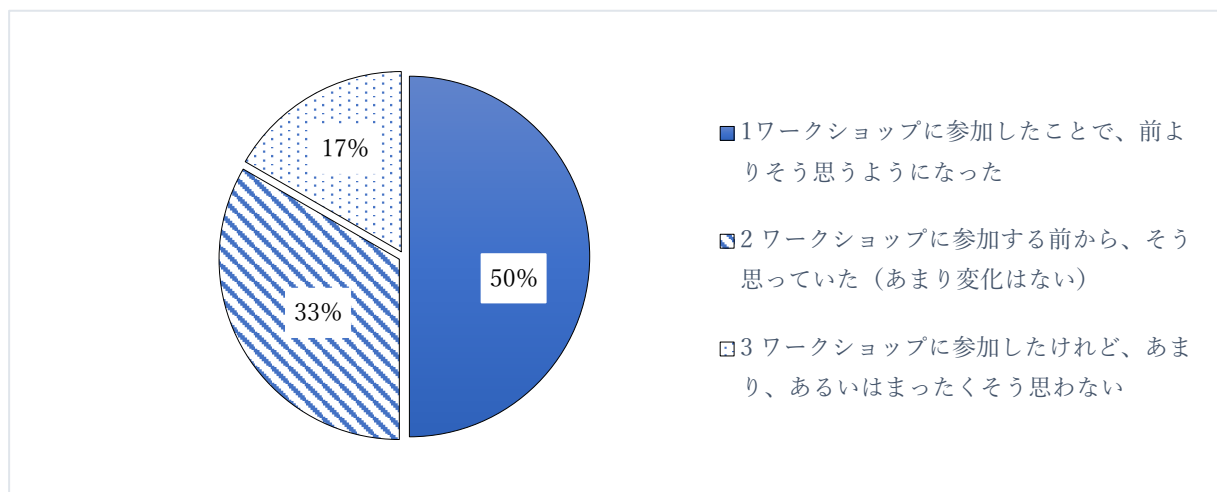
15. 私は、今の武蔵野市を望ましい社会へと変えていくために、立場や意見が異なるいろいろな人を巻き込んだ戦略を考えつことができる。



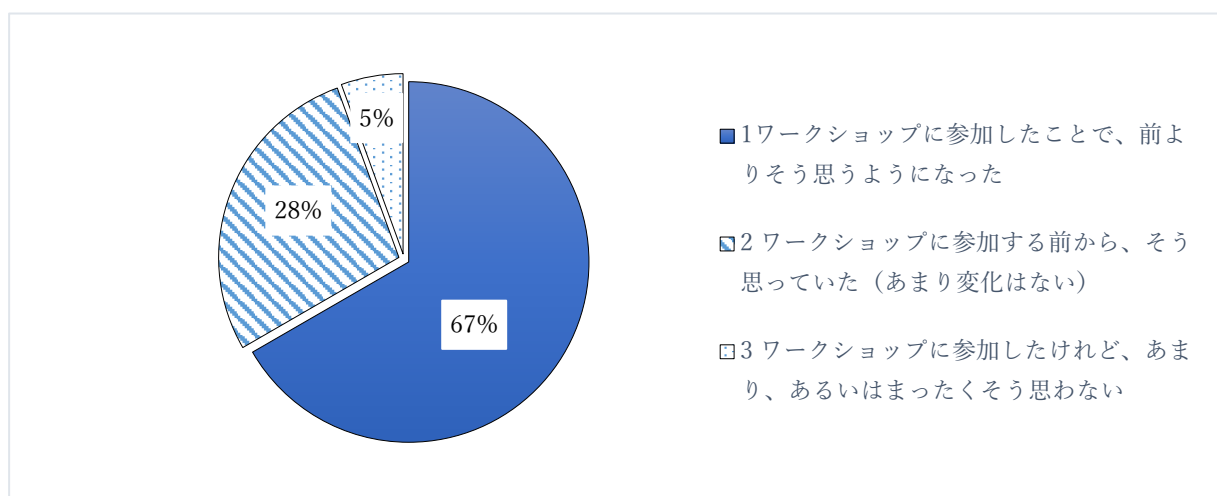
16. 私は、他の人と一緒に話し合ったり、協力しあったりして、チームとして上手に作業を進めることができる。



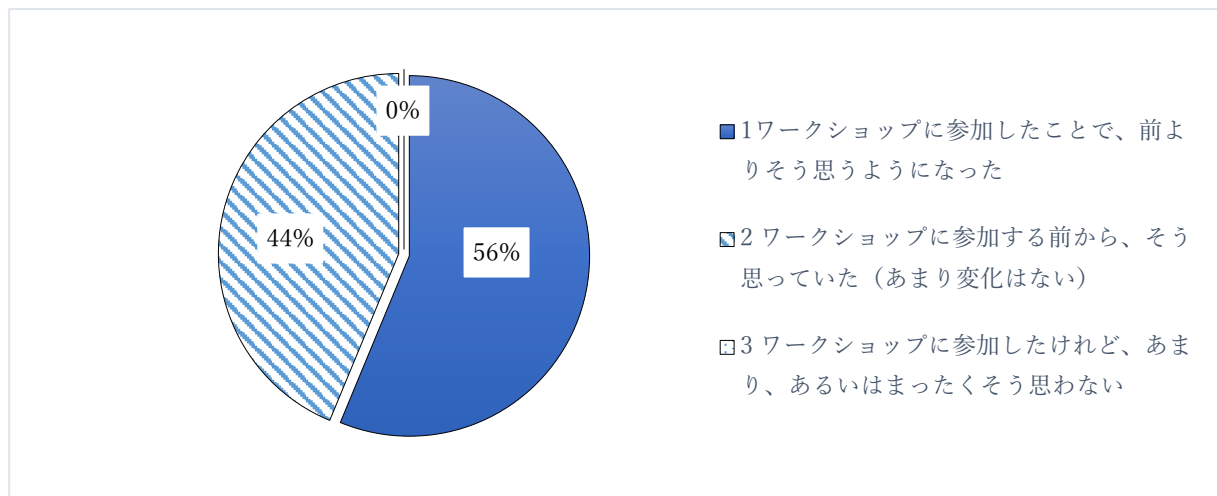
17. 私は、自分と立場や意見が異なる人であっても、問題の解決に向けて一緒に話し合ったり、協力しあったりすることができる。



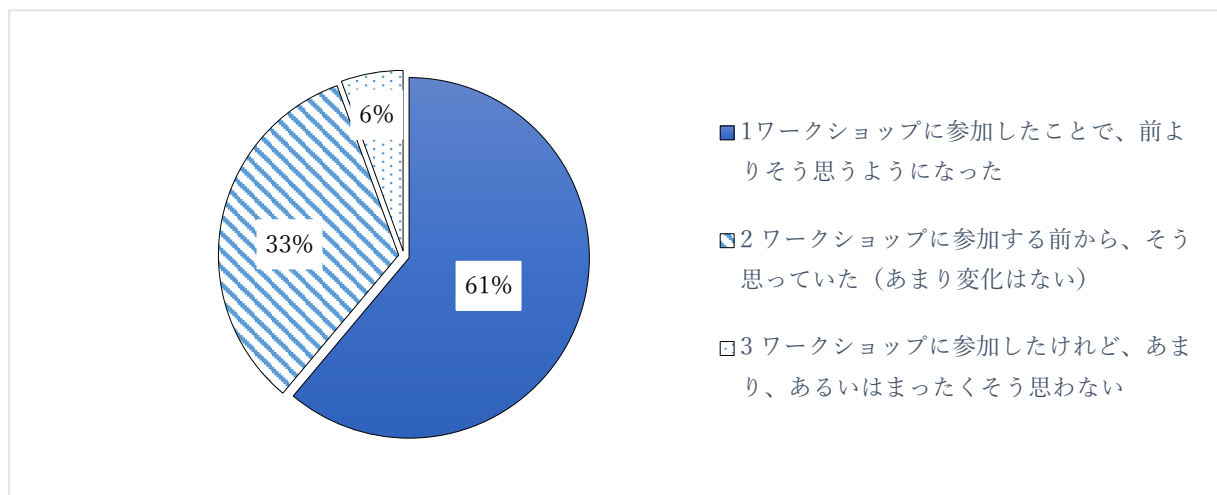
18. 武蔵野市で起きる様々な問題を解決するためには、個人で行動するよりも、他の人と協力してできることに取り組んだほうが効果的だ。



19. 個人で行動するだけでなく、他の人と協力して一緒に問題に取り組まなければ、武蔵野市は危機的な状況になる。

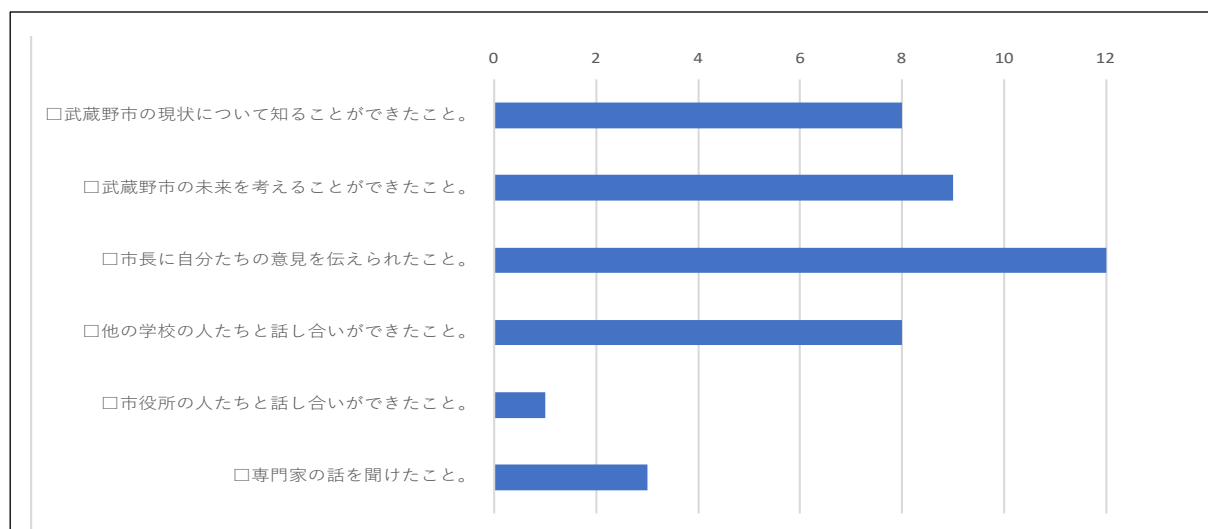


20. 他の人と協力して一緒に地域の問題に取り組むことは、私たちの責任だ。



回答数 18 (Q19 は 2 名無回答)

(2) 今回のワークショップで、よかったなと思えることはありましたか？ 以下のうち、よく当てはまると思うものに2つまで○をつけてください。



5. 参考資料

(1) 募集チラシ

タイムスケジュール(予定)

9:45	受付開始
10:00	ワークショップスタート
	自己紹介しよう
	2050年の武蔵野市の課題を知ろう
	疑問に感じたことを質問しよう
12:00	昼休み(昼食)
13:00	質問への回答を聞こう
13:20	グループワークスタート
	2050年の武蔵野市の課題を付せんし書き出そう
	「未来市長」として、松下市長へのアドバイスや提案を考えよう
	考えたことを、市長へ発表しよう
	市長からのコメントを聞こう
	アンケートを記入しよう
16:00	解散 *おつかれさまでした!

対象 中高生世代(12~18歳)

定員 20名程度 ※このほか中高生世代ワークショップ「Teensムサカツ」からの参加あり(予定)

特典 未来市長バッジ・参加証明書

申込方法 E-mailによるお申し込み
①氏名(ふりがな)、②性別、③学校名、④学年、⑤卒業小学校名、⑥住所、⑦電話番号、⑧昼食希望の有無、⑨保護者氏名(ふりがな)、⑩緊急連絡先を明記の上、下記申込先にE-mailを送信してください。
申込フォームによるお申し込み
QRコードから申込フォームをご確認いただき、必要事項を入力の上、送信してください。

締切 2022年6月30日(木)

その他 ●昼食は市で用意します(無料)。アレルギーをお持ちの方や希望しない方はお知らせください。
●本事業は「中高生世代ワークショップTeensムサカツ」とのコラボイベントになります。
●入手した個人情報は厳重に取扱い、本事業の目的以外では使用いたしません。

申込・問い合わせ 武蔵野市総合政策部企画調整課 千180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 TEL 0422-60-1801 Email sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

主催 武蔵野市総合政策部企画調整課 **協力** 特定非営利活動法人地域持続研究所(千葉大学研究グループOpoSSUM)

(2) 参加者事前送付資料

CONGRATULATIONS

2050年7月28日

あなたは
「むさしの未来市長」に
就任しました。

おめでとうございます!

でも……

未来には
いろいろな課題が山積み
になっていました。

未来市長のミッション(使命)

MISSION1
このまま未来を迎えると、2050年の未来市長が対応しなければならなくなることを書き出してください。

MISSION2
2050年の未来市長として、2022年の今の市長に、「あのとき(2022年)にやっておいてほしかったこと」を提案してください。

すべての提言は松下市長に届けます

今日のワークショップでは、みなさんが考える理想の武蔵野市と、このまま何もしなかった場合の未来の武蔵野市とのギャップを見つけ、そのギャップを解消するために、「今、何をすべきか」を考えます。そのために、未来を担うみなさんを集まっていたきました。

バックキャストिंग(将来の姿から今を考えること)が今回のキーワードです。

未来カルテのトリセツ(取扱説明書)

これから、みなさんに未来カルテ2050の結果をお知らせします!!

未来カルテ2050の結果は、**緑字**や**数字**で表しています。

そのまゝに……

この未来カルテ2050は、未来の状況を予測するものではありません(ここ重要)

未来カルテ2050は、**いまの傾向が変わらないとすれば、どのようなことが起こるか**を考えるためにつくったものです。

政策を行えば、「**いまの傾向**」を変えることができます。

「政策」:社会的な課題を解決するために、さまざまな社会のルールを変える取り組み

あなたの提案で未来を変えてみましょう!

人口

日本の人口は2008年をピークに減少しつつありますが、武蔵野市の人口は、近年増加傾向にあります。国(社人研)の予測では、武蔵野市の人口は2050年にかけて5%程度減少しますが、市の独自予測では、10%程度増加の見込みです。

国(社人研)の予測(2008年1月1日現在)

国(社人研)の予測(2008年1月1日現在)

項目	2008	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
日本	127,000,000	126,000,000	125,000,000	124,000,000	123,000,000	122,000,000	121,000,000	120,000,000	119,000,000	118,000,000
東京都	13,500,000	13,400,000	13,300,000	13,200,000	13,100,000	13,000,000	12,900,000	12,800,000	12,700,000	12,600,000
武蔵野市	1,100,000	1,150,000	1,200,000	1,250,000	1,300,000	1,350,000	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,550,000

75歳以上の人口が、2050年には2015年の1.7倍になる見込みとなり、高齢化が全国よりも早く進行する予測です。

男 2015 女 2050

自然減

出生数<死亡数の場合、人口は減ります

社会減

転入数<転出数の場合、人口は減ります

武蔵野市では、転入数が転出数を上回る「社会増」の状態となっています。

とくに、大学生の年代が転入超過となっています。

武蔵野市では、合計特殊出生率(一人の女性が生涯に持つ子供の数の平均)が、全国よりも低い水準になっています。

合計特殊出生率が、2.07を上回らないと人口が減少していくとされています。

産業

2015年に比較して2050年には、働く人数は87%になる(13%減)見込みです。(社人研予測ベース)

働く人の割合は2015年44.4%、2050年44.4%

人口 144,730人、就業人数 69,897人 | 人口 137,045人、就業人数 60,878人

2015年は卸売業・小売業で働く人が最も多く、2050年は情報通信業で働く人が多くなっています。

武蔵野市の2050年までの就業予測

働く人の総数の減少(87%)以上に減っていく主要産業

建設業 43.6% | 製造業 31.5%

卸売業・小売業 61.1%

医療・福祉

医療・福祉 69.4%

働く人の総数の減少(87%)と同じ程度に減少する産業

農業 87.2% | 公務(他に分類されないものを除く) 90.9%

農業

宿泊業・飲食サービス業 88.5% | 教育学習支援業 86.5%

武蔵野市の食料自給率は1741市町村中1681位

保育・教育

幼稚園・保育園の子どもの数が84.0%に減少します。

2018年時点で、全国では6.3人、東京都では5.1人

小学生的子どもの数が86.9%に減少します。

先生一人当たりの児童数は、少し増えます。

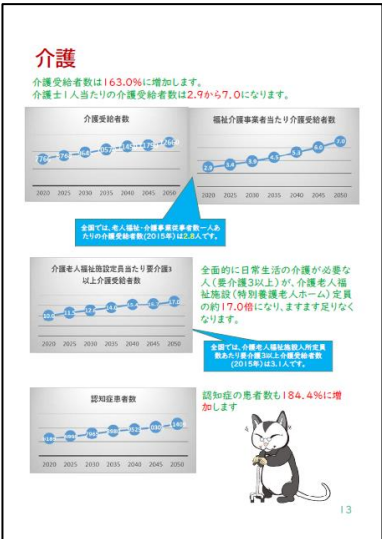
医療

中学生の生徒数が90.1%に減少します。

先生の減少の方が大きい予測で、先生一人当たりの生徒の数が増えます。

患者数は101.1%と横ばいです。市内の病院だけですべての入院患者者が入院できない状況です。

医師一人当たりの患者数も少し増加しますが、全国的な数字と比べると、医師は比較的多い地域です。



廃棄物・リサイクル

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
この国の総量(百万t)	4772	4860	4949	5037	5125	5212	5299	5386	5473
資源物(百万t)	188	194	200	206	212	218	224	230	236
燃焼(百万t)	1784	1766	1749	1731	1714	1696	1679	1661	1643
埋立(百万t)	2806	2900	2950	3011	3064	3117	3170	3223	3276
資源物の割合(%)	3.9	3.9	4.0	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3	4.3
埋立の割合(%)	58.8	59.7	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
燃焼の割合(%)	37.3	36.3	36.0	35.9	35.9	35.8	35.8	35.7	35.7

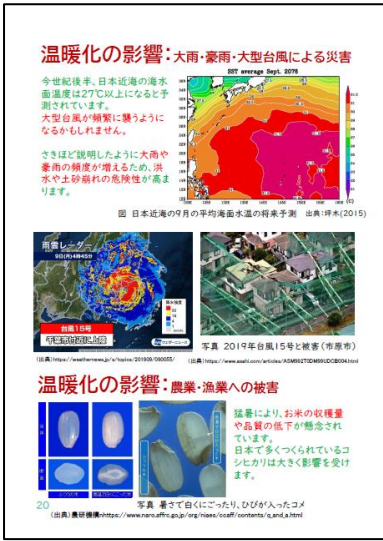
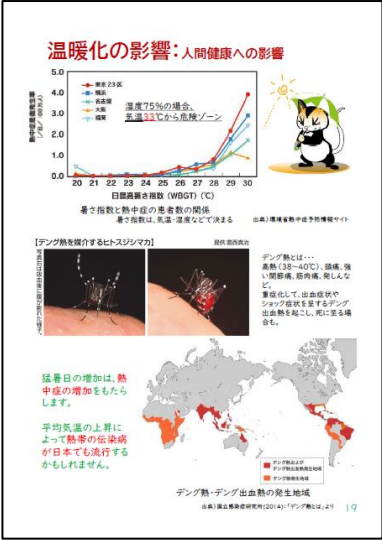
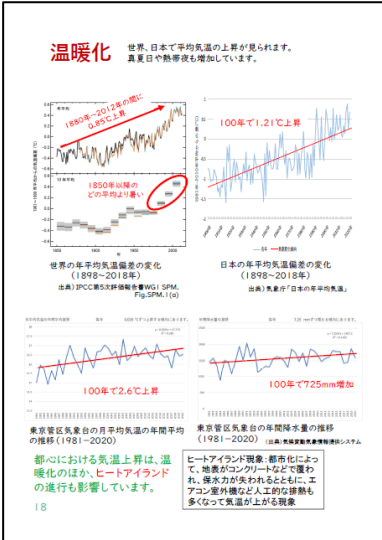
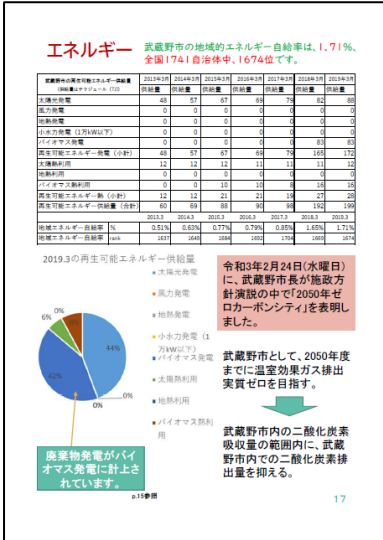
武蔵野市では、2035年10月頃から建て替えるのが必要となる。現状、不燃物はゼロになりつつあります。中古の売却についても、県立資源物管理センターの取り組みにより、2006年7月から量産廃棄物化され、埋め立て処分は行われていません。

武蔵野市のごみは、グリーンセンターにおいて、焼却・リサイクルされています。

2017年に稼働した新グリーンセンターは、周辺の建物に、電気と熱を供給しています。

5-3Rの取組のベスト3

	順位	品名	回収率	品名	回収率	品名	回収率		
グリーンセンター	1	紙類	99.9%	1	資源物	44.1%	1	資源物	44.1%
リサイクルセンター	2	資源物	44.1%	2	資源物	44.1%	2	資源物	44.1%
エコセンター	3	資源物	44.1%	3	資源物	44.1%	3	資源物	44.1%



二酸化炭素ダイエット

ダイエット

- 食べる量を減らす
- カロリーの低いものを食べる
- 運動をしてカロリーを消費する

二酸化炭素ダイエット!

- 化石燃料(火力発電の電力、ガス、ガソリンなど)の消費を減らす(省エネ)
- 再生可能エネルギーに変える(再エネ)
- 二酸化炭素を吸収する

対策1:建物のゼロエネルギー化

ZEH(ゼッチ): Net Zero Energy House

2030年までに新築住宅の平均(半分以上)でZEHの実現を目指す

ZEB(ゼブ): Net Zero Energy Building

2030年までに新築建築物の平均(半分以上)でZEBの実現を目指す

対策2:自動車の脱炭素化

Well to Wheel

ガソリン車 (GV) やディーゼル車 (DV)、ハイブリッド車 (HV) は走行時、二酸化炭素を出します。

電気自動車 (EV) は、走行中に二酸化炭素を出しません。燃料となる電気の発電時に二酸化炭素を排出する可能性があります。

したがって、まずはできるだけ自動車での走行距離を減らす必要があります。

燃料を作ることを含めて考えても、EVは、GVやDV、HVより二酸化炭素の排出が少ないことがわかっています。

図 自動車走行と二酸化炭素の排出

図 燃料を作ることを含めた二酸化炭素排出量

図 燃料を作ることを含めた二酸化炭素排出量 (2018)

イギリス:2030年までにガソリン車 (GV) とディーゼル車 (DV) の新車販売を禁止。2035年までにハイブリッド車 (HV) も禁止。
中国:2035年までにGVを禁止。全ての新車をEVに。
米連邦政府:販売できるGVの割合について、乗用車は2030年までに、二輪車は2035年までにゼロ。

22

対策3:再生可能エネルギーの導入

化石燃料による火力発電は、再生可能エネルギーに比べて、二酸化炭素の排出量が約10倍です。

図 発電にもつ二酸化炭素排出量

対策4:二酸化炭素の吸収

植物は光合成により二酸化炭素を吸収します。しかし、植物も成長するにつれて二酸化炭素の吸収量は減っていきます。そのため、成長した木は伐採して、木材として利用しながら、若い木を植える必要があります。

図 樹種別・林齢別の炭素吸収量

23

技術進歩

科学技術基本計画 (2018.11 閣議決定)

Society 5.0

ICTを最大限に活用し、サイバー空間とリアル空間 (現実世界) とを融合させた超スマート社会 (Society 5.0) を実現する。

必要となるサービスは、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かく対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、活気と発展に導くことができる社会

24

ワークショップについて

「ワークショップ」とは、みんなで作業をして、何かを生み出すことです。ワークショップにはいろいろなやり方がありますが、今回はアイデアを出し合い、まとめる「ワークショップ」を行います。全員が参加できるように気配りしながら、楽しく話し合いましょう。

① アイデア出しのルール

- 質よりも量
不完全なアイデアでも、ほかの人が拾ってくらまでくれるかもしれません。たくさん出すことが重要です。
- かわった意見、歓迎!
ほかの人が思いつかないような意見、斬新な意見、遠く視点からの意見など、歓迎です。
- 批判しない
アイデア出しの段階では、批判してはいけません。出した意見に責任をとらせることも厳禁です。自分のアイデアを主張しないでください。
- ほかの人の意見と合わせて考える
ほかの人の意見を聴きながら、「このアイデアとこのアイデアを一緒にしたらどうだろう」と考えてください。

② 発言のルール

- ほかの人の話に相づち・リアクション (反応) を!
コミュニケーションの基本はリアクションです。ほかの人の話に何か反応を示すだけでいい。相づちでも、くりかえしていいですよ。
- 大きな声で楽しく発言しよう!
発言するときは、他の仲間に参加できるように大きな声で発言しましょう。仲間全員にはほかの人に聞こえるように大きな声で!
- 個人作業のときは、おしゃべりしない!
それぞれがアイデアを紙に書き出す時間には、おしゃべりしないでください。結果や議論は後。

25

③ アイデア・意見を付箋紙 (ポストイット) に書き出します。
「アイデアひとつにつき一枚はいいです」
「名前を書いてください」
「ほかの人も読んでみるように大きな字で書いてください」
「ほかの人も読んでみるように大きな字で書いてください」
「ほかの人も読んでみるように大きな字で書いてください」

④ 個人のアイデアを根拠紙に貼る方法

- 手元の付箋紙を出す順番を決めます。
- 最初の順番になった人が付箋紙を根拠紙に貼ります。
- 自分が書いた付箋紙から、枚数だけ、根拠紙に貼ります。
- 自分のアイデアの付箋紙を選びます。
- 自分が貼った付箋紙に似た付箋紙を持つ人は、最初の人の付箋紙の近く貼ってください。かたがた貼らないでください。根拠紙の隅やすき間に貼らないでください。
- 次の順番の人が付箋紙を根拠紙に貼ります。
- 全員がアイデアを貼られるまで、同じ作業を繰り返します。

⑤ グループのアイデアのまとめ方

- アイデアの書き出しの順番をききます。
根拠紙には、似たアイデアが配置されています。
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」
- アイデアの書き出しの順番をききます。
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」
- アイデアの書き出しの順番をききます。
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」
「根拠紙の上にアイデアの書き出しの順番をききます」

26

政策を考えるためのヒント

○ すべての方向で考えることができます。どちらか、未来の武蔵野市に合っているでしょうか。どちらが実現しやすいでしょうか。

人が足りない? 「人を増やす」か 「仕事を減らす」か
人が余る? 「人を減らす」か 「仕事を増やす」か
お金が足りない? 「収入を増やす」か 「支出を減らす」か
場所が余る? 「活用する」か 「壊してしまおう」か

○ できれば、ルールづくりまで、考えてみましょう。

人を動かす必要がある? 「税金を変える、義務づける、教育を変える、慣かのようにする、表彰する、情報を出す、場所をつくる、リーダーを育成する」 など

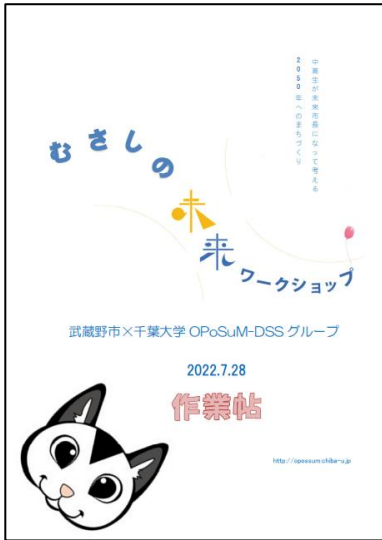
収入を増やす必要がある? どのようなことをすれば収入が増えるでしょうか。
○ 未来 (2050年) のために、今 (2022年) からやっておいた方がいいことを探しましょう。

27

資料中、出典を明記していないグラフは、千葉大学大学院社会科学研究科 基礎研究室が作成した「武蔵野市未来のカタチ」にあります。
本資料のデザインは、基礎研究室の責任において作成したものです。
田原未来の子の詳細については、以下ホームページをご確認ください。
<http://oppoosm.jp/en/>

28

(3) 当日配布資料



*自己紹介をしよう！

最初に、「マトリクス自己紹介」という方法で、自己紹介をする時間を設けます。この自己紹介は、

- ・ 自分の名前（よみがな）
- ・ 自分に関するキーワード（この話題だったら話ができるという単語：部活、趣味、マイブーム、特技など）

を、できるだけたくさん書き込んで、他の班員から質問を受ける形で自己紹介するものです。

*武蔵野市を知ろう

武蔵野市からの市の紹介を聞いて、気づいた点、わからなかった点をメモしましょう。説明されたこと以外に、市に聞いてみたいことがあれば、何でもメモしましょう。

*2050年の武蔵野市はこうなっている？

未来市長になった皆さんの前には、どんな課題が待ち受けているのでしょうか？

- ・ 気づいた点、これは大変なことになると思うことをメモしてみましょう。
- ・ どんな問題が訪れることが想像できますか？
- ・ そのためにはどうしたいのでしょうか？
- ・ 資料や説明でわからなかった点、あるいは質問したいこともここにメモしておきましょう。

未来市長のミッション

人口

産業構造
教育・教育
医療・介護
住宅・道路・公有施設
廃棄物・リサイクル

災害
エネルギー
高齢化・高齢化の影響
二酸化炭素ダイエット

技術進歩

*松下市長への提言

他のグループは松下市長にどんな提言をしましたが、気に入った提言をメモしましょう。

松下市長は、どんなコメントをしましたが、どんな感想を持ちましたか。

(4) 傍聴について

5名

武蔵野市第六期長期計画・調整計画

むさしの未来ワークショップ

報告書

令和4年10月

事務局 武蔵野市総合政策部企画調整課

東京都武蔵野市緑町 2-2-28

電話番号：0422-60-1801